

令和7年度 第1回鳥取県国土強靱化推進評価会議 概要

【日時】 令和7年9月9日（火） 15時から17時

【場所】 鳥取県立図書館 大研修室

【出席者】

分野	氏名	役職等	
行政	山川 泰成	鳥取市危機管理部長	出席
〃	景山 政之	日野町総務課長	
住宅・都市・環境	南波 一好	鳥取県建築士会理事	出席
保健医療・福祉	田中 響	鳥取看護大学教授	
エネルギー	真島 和人	中国電力㈱鳥取支社総務グループマネージャー	出席
産業・金融	倉光 千浪	倉吉商工会議所女性会	
情報通信	定道 正代	NHK鳥取放送局副局長	
物流	山崎 隆志	一般社団法人鳥取県トラック協会専務理事	出席
農業	武田 政信	鳥取県農業協同組合中央会総務部長	出席
国土保全・交通	杢見 吉晴	国立大学法人鳥取大学名誉教授（特任教授）：座長	出席

【概要（主な意見）】

（１）鳥取県国土強靱化地域計画（第２期計画）の概要について

・委員からの意見、質問なし。

（２）鳥取県国土強靱化地域計画（第２期計画）に係る施策の進捗状況について

・住民の主体的な取り組みに関するK P I の進捗状況について、住民個人の意思決定が影響するため、進捗状況にあまり変動が見られない（C評価※が横ばい傾向）。[杢見座長]

※C評価…やや遅れている（達成率25%以上50%未満）

・産業分野のK P I も業者主体のものであり、他分野と比べてC評価の割合が多く、県が行っている支援が評価に繋がっていないように思う。[杢見座長]

・農業従事者の高齢化や後継者不足により荒廃農地が増え、地域コミュニティが衰退している。田畑が持つ治水機能の衰退に繋がるので、第３期計画に農業施設の整備等を加えてはどうか。[杢見座長、武田委員]



（３）鳥取県国土強靱化計画「第３期計画」の策定方針について

・基本的な考え方は問題ないが、K P I の進捗管理を評価マネジメントが必要な項目に限定したり、分野ごとに評価等してはどうか。[杢見座長、山川委員]

・災害時の緊急支援物資について、集積場で采配する専門家がおらず、物資が集まっても避難所まで配送できていないことが課題になる。[山崎委員]

・土木インフラの耐震化や老朽化対策は、全体で優先順位をつけながら定期的に進めるべき。[真島委員]

・住宅の耐震化に係る相談は年々増えており、行政の補助率（予算）が増えればさらに推進されると思われる。[南波委員]

・第３期の計画策定に当っては、第２期の進捗状況を踏まえ、第２期計画までのシナリオは踏襲しつつ、国土強靱化実施中期計画（令和８～１２年度）と調和させた計画を検討していくことを承認した。[杢見座長]

（４）鳥取県インフラ長寿命化計画（行動計画）第２期計画策定に向けた方針について

・委員からの意見、質問なし。

（５）今後のスケジュール

・委員からの意見、質問なし。